

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8288
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	スポーツ係
事務事業名	地域体育活動費		事業コード	15210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63
施策名	第1施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法、相模原市スポーツ振興計画

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市民の健康の増進と体力の向上を図り、心の通ったコミュニティづくりの一助とするため、地域の市民スポーツ・レクリエーション活動を普及・促進するために実施する。		市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
相模原市公民館連絡協議会へ業務委託を行ない、各公民館において地域住民を対象に各種スポーツ事業を実施する。 ・各種スポーツ大会の開催 31事業(5,439人) ・各種教室・講習会の開催 5事業(343人) ・地区体育祭、ハイキング等つどい 12事業(3,642人) ・地域スポーツ団体育成事業等の実施 14事業(462人)		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	各種スポーツ教室、大会等実施の参加者数		
指標式	各種スポーツ教室、大会等実施の参加者数		
指標設定の意図	スポーツ事業等の参加者数を対前年度比較し、地域体育振興におけるスポーツ事業等の増加者数を見る。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	11,031.0	13,758.0	a 9,886.0	b 11,000.0	12,000.0	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,150	1,150	1,150	1,104	
	人員・時間数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
	人件費	842	842	842	842	842
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	1,992	1,992	1,992	1,946	
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか				
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 89.9%		
	B:一部達成していない(100%> 80%)			
	C:達成していない (80%>)			
a	9,886.0	$\times 100=$ 89.9%	b	11,000.0
c		$\times 100=$	d	
e		$\times 100=$	f	
理由:	参加者総数には減少が見受けられるが、スポーツ大会・教室等の参加者は前年度より増加している。			

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	多くの市民が生涯にわたり気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる身近なスポーツ活動等の提供は本市のスポーツ振興の観点から欠かすことのできない事業で必要性は高い。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	相模原市公民館連絡協議会に地域体育活動の業務委託を行なうことにより、地域の実情に合わせたスポーツ振興が図れるとともに、人件費の面からも削減が図れる。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	市民がスポーツ活動をする機会としては、市主催事業だけではなく、各種スポーツ団体などから大会や講習会などの形で提供しているが、民間のスポーツ事業者の多様なスポーツ活動の機会とも連携を図り実施する必要性もある。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	「時間がない」、「機会がない」などの理由から、スポーツから遠ざかりがちな市民に対して、スポーツをより身近に感じ実践できるよう多様なスポーツ大会等の実施に努める必要がある。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	多様なスポーツ活動の機会を提供し地域住民の自主的なスポーツ活動を支援することは、体力の向上や健康づくりの推進を行うことができ、生涯スポーツの振興が図れる。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>地域の実情に合ったスポーツ活動の機会を提供し幅広い年齢層を対象とした参加を高めれば、さらに成果の向上が図れる。</p>
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>事業の委託にあたり、必要最小限の経費で実施しているため削減は困難である。</p>

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	市民は「楽しみ」、「健康」、「交流」の様々な目的からスポーツを行っており、その内容も軽い運動から競技性の強いスポーツまで非常に多様化している。今後も市民それぞれの目的が十分達成されるよう様々なスポーツ活動の機会に努め、本市のスポーツ振興の推進を図る。	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了	説明		

8 二次評価における変更点

--